

Hand in Hand

学年合唱リハーサルを振り返って



6月29日(火)に行われた学年合唱リハーサル。どのクラスもどうにか作り上げてきた歌声を披露しようと頑張る姿が見られた発表でしたね。

いよいよ来週の水曜日が本番です。どのクラスも、他のクラスの歌う姿から多くを感じたことで、残りの日々は“自分たちの合唱”を作り上げていくことにより力が入ることでしょう。ぜひ皆さんには、“私たちのクラスだからこそ歌える合唱”を作り上げてほしいと思います。そのために意識してほしいことがあります。それは、“**聴いている人達に、どんなことを伝えたいのか**”ということ。指揮者も伴奏者も、各パートも、全員がそれぞれの立場で、どんなことを聴き手に伝えたいのか。しっかりと意識して残りわずかとなった練習に臨んでほしいと思います。

♪学年リハーサルを終えて、馬目先生からのアドバイス

- ① まずは声をしっかりと出す。声を腹から出して、遠くにとばしましょう。身体を使って口を開けて声を出しましょう。
- ② 息の吸い方が不足。たっぷり吸って、しっかり吐きましょう。
- ③ 音取りをしっかりと。各パートの音を身に付けること。一人一人が確かな音程で歌いましょう。



市中総体を終えて

運動部の皆さんに6月に行われた市中総体を振り返って、感じたこと、考えたことなどを書いてもらいました。

私は青陵の体育館で1試合目中山中学校と、2試合目上杉山中学校と戦いました。私はこの中総体でたくさんのことを学びました。

一つ目は努力することの大切さです。私は1年生の頃、きつい練習が嫌いで参加に積極的ではなかったので、上手くプレーすることができませんでした。しかし、2年生からたくさんの練習をして、試合もたくさん経験しました。上杉山中学校には及びませんでしたが、1年生の時よりも良いプレーができて、努力して良かったと思いました。

二つ目は仲間の大切さです。3年間、一緒に練習してきて、ケンカしたり仲が悪くなったり、不満を感じたりすることもありました。しかし、中総体を終えて、今までの練習はこの仲間がいたからできたことだと感じられました。試合中も私に丁寧なパスを出してくれたり、シュートが入った時には褒めてくれたりしました。その時、この仲間と同じ部活で良かった。一緒に練習できて良かったと心の底から思えました。

三つ目は、周りの支えです。部活は先生とメンバーで練習して行うものだと思っていました。しかし、今回親の支えをとっても感じました。上杉山中学校との試合の時、とても点差がひらいてしまい、正直諦めかけていました。そんな時、ギャラリーにいたお母さんお父さん方が、大きな拍手で応援してくれました。私はあのときの光景が忘れられません。今までの練習の送り迎えやお弁当など支えてくれたのは、自分はもちろんメンバーみんなのお母さん、お父さんだったと実感しました。目標としていたグランディーには行くことが出来ませんでしたが、仲間と勝ち取った一勝はとても大切なものだと思います。後期になって少し環境が変わりますが、青陵バスケット部で高みを目指して頑張りたいと思います。

バスケットボール部